

# 細腕なんて言わせない!!

259

## 毎日コツコツの積み重ねです

「正直に和を伝えたい」と話す 馬目 和子さん

■きものと和裂「ほうせん」経営  
■いわき市平豊間字下町九六

電話／〇二四六一三八―二九六六

「和」の代表格の一つ、着物。洋服の普及に押され、男女ともにその姿を見ることは年々、少なくなってきた。特に、女性の和装姿は優雅さ、凛々(りり)しさがあり、諸外国でも「キモノ」の評価は高い。

「祖母と母の影響を受け、小さいときから着物が大好きでした。これがずっと心に残っていて、家業の手伝いの終わりと同時に、『これからはやりたいことをやる!』と思い、着物文化に入ったんです」

「桜の樹木を利用して染め上げた」という、ピンク系の大島紬(つむぎ)を着こなし、いきさつなどを丁寧に話す馬目 和子さん(四五)は、手織りや手描きの作品などを並べた「和装の店」を開業して十三年になる。

「古い着物の仕立てや、染め直しのお手伝いもできる、古着屋でもなく、呉服屋でもない『新しい、きもの屋』として頑張る彼女、二十代は東京の短大英文科で学び、食品会社に勤務。三年勤めた後Uターンし、家業を手伝う。

家業はもともと、酒屋だったが、自宅



「小さいころから着物が好きでした。店はぜいたくはできませんが、好きなことを、自分で決めたことなんですから」と言って笑顔を見せる馬目さん

近くでコンビニを開業。馬目さんは、看板娘として働いていたものの、平成十三年六月に契約が切れたこともあって閉店。三十二歳になった彼女はこれを機に、「一念発起して『着物の道』を目指し、同年十二月、自宅そばに十二坪（約四十平方メートル）の店を開店。

## 着付けなど独学で学ぶ

着物が好きだったとはいえ、知識も不十分だったため、母親に教わり、関連の本を読み続けて研究。着付けも同様に学び、「自身の着付けの場合は、素材が傷むので、結ばないで折りあげる方法とっているんです」と、柔らかく笑う。

商品の購入は、横浜にある専門問屋が主。着物、帯、コート、長襦袢（じゅばん）などなど。セリも行われるが、「当初は

何が何だかまごついてばかり。何度か通っているうちに、皆さんから親切に教えられるようになりました」。

そのセリの場合は現金主義。このため、商品に対する眼力、インスピレーションをはじめ、場の雰囲気など、呼吸も大事な要因。店を開いて以来、これまで、月に一、二度と通って回数を重ねてきただけに、最近では慣れてきた様子

の馬目さん、「車で行ったり、電車で行ったりしていますが、商品を背負ってきたときもありますよ」と言って大笑い。

穏やかに話しながらも時折、シンの強さも垣間見せる馬目さんは、これまで市



内のギャラリで、自ら手直しなどをした着物、縮緬（ちりめん）細工などの小物の作品も展示したこともあり、注目を集めた。

そうした中、自宅、店舗とも沿岸部にあるため、先の東日本大震災の折は、津波での浸水、また近辺家屋のガレキも入るなど、大きな被害を受けた。

馬目さんは、「商品も全部濡（ぬ）れてしまつて……。あの状況で着物など不見識と思つていたところ、ある人から『こんな時だからこそ着物よ』と言われ、気持ちに気が一本入りました。あの年の九月から店を再開しました」と振り返りつつ、「ゼイタクはできないけど、何とか生活しています。毎日がコツコツの積み重ねですよ」と、商売を交えつつ、真摯（しんじ）に自らの人生をも語っていた。



「セリはインスピレーションも」

# 店内には新作品から縮緬細工までずらり

## プロフィール

### まのめ・かずこ

1969年11月27日生まれ。平豊間出身。店内では和服姿で通す独身の馬目さん、「普段はGパンもチノパンもはきません」。過去には和裁も習い、今の仕事に役立てており、「(店は)大きくなっていませんが、正直に『和』を伝えて行きたい」。店名は家業の酒店「豊仙」をひらがなに。今の仕事の点数は「改造点ありで78点」。料理は「和洋とも」。O型

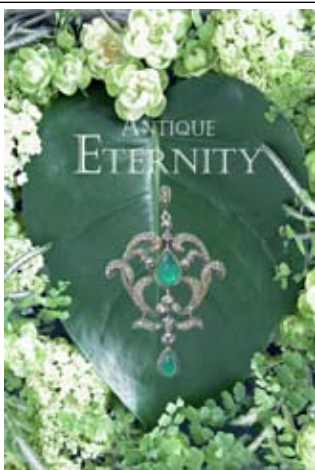
■お知らせ=このコーナーでは、自ら選んだ仕事に、あるいはその人生においてひた向きに励み、努めている女性を紹介しています。情報をお寄せください。

## アンティーク・ジュエリー展 同時開催/テーブルウェア展

会期/2015年5月14日(木)~5月19日(火)  
午前10時~午後6時(最終日は午後4時閉場)

### 『COLOUR』

古代より人類を魅了してきた天然石は地球が幾月もの時をかけ育んだ美の賜物です。さまざまな色合いのカラーストーンジュエリーをご紹介します。  
同時にマイセンを中心とした19世紀の貴族の食卓を彩ったカップや皿などのテーブルウェアもご覧いただけます。アンティークの気品ある世界をお楽しみください。



残したい日本のホンモノ  
伝統的工芸品

## しな織逸品展

会期/2015年4月30日(木)~5月12日(火)  
午前10時~午後6時(最終日は午後5時閉場)

## 有限会社 小野美術

いわき市平字中町22番地の2 Kビル1F  
☎0246-35-0383  
HP: <http://onobjutsu.jp> e-mail: [info@onobjutsu.jp](mailto:info@onobjutsu.jp)